



No.4

埼玉県白岡市

I. 基本情報

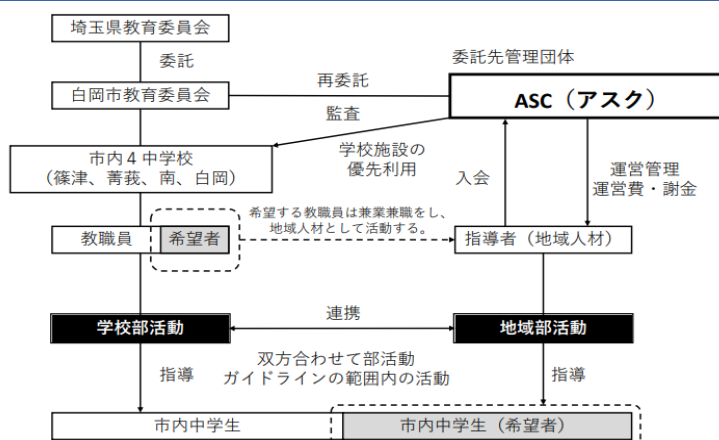
主な活動種別

(運営主体) ASC (アスク)
※PTAのOBを中心として地域部活動ために発足した組織

吹奏楽

(事業目標) 白岡市では、生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点から、国や埼玉県のガイドラインに則り、「白岡市部活動ガイドライン」を策定し、部活動の適正化を推進している。現在、国や埼玉県では学校の働き方改革も考慮した更なる部活動改革の推進を目指し、部活動を学校単位から地域単位の取組に移行することが求められている。本事業は、生徒にとって望ましい部活動の実現を目指すとともに、部活動における教員の負担軽減を図ることを目的に、地域人材の協力を得ながら休日の部活動の段階的な地域移行を進めるために、人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むものである。

団体・組織等の連携



II. 活動概要

原則、3時間程度の練習(吹奏楽)を週1回
中学校の部活動に準じた活動内容(コンクール等に向けた楽曲の演奏)

III. 成果・課題

本事業による成果

- ・教員が休日に従事することがなくなったため、従来の学校部活動と比較して1週につき約3時間の勤務時間を削減することができた。
- ・本事業では、生徒にとって影響がない形での地域展開を目指しており、これまでと同様の内容で充実した活動をすることができたため、影響は特になかった。
- ・地域移行による教職員や生徒の成果よりも、教育委員会や管理運営団体としてのノウハウを得ることや、課題の整理をすることができた。

指導、運営上の工夫

生徒、保護者、学校に混乱をさせないソフトランディングを目指した運営を心掛けた。運営団体の受け皿は、PTAのOBを中心とした組織であり、地域部活動のために発足したものである。生徒、保護者、学校、教育委員会をつなげる役割を果たしており、運営上最も工夫した点である。中学校部活動よりのシステムにするのか、社会体育やクラブチームのようなシステムにするのかによっても教職員の負担は変わってくると思われる。今回の工夫としては地域部活動を中学校部活動に準じた活動とすることで、教職員の負担を減らせるのではという考えのもと運営している。

今後に向けた方針・方向性

- ・課題に対する解決策の提案とフォーラム・シンポジウム等の開催
- ・コーディネーターの設置と運営委員会の開催
- ・各種説明会等の実施
- ・人材バンクの設置と活用
- ・ICT機器の活用

(※詳細はURLを確認ください。)